

作成: 芝崎

69. 日常篇: 私の苗字が5月に2度TV番組に登場し、びっくり!!

- (1) 3か月前のTVのドラマに2度も私の苗字「シバサキ」で役柄に出ていた為に驚いた。
こんなこと初めて、何年に1度あるかないか程度なんだけど...
- (2) テレビ朝日 5月1日 21:00~『特捜9』のシーズン7で、TVをつけながら的に見ていたら、やたら、「シバサキ」という声が段々と大きく、TVから聞こえ、何だろうと死体役の苗字の「柴崎」を連呼。つい大きい声の時、TVの前で「ハイ」と。一人で見ていてよかった...。(微笑む)
- (3) もう一つは日本テレビ 5月4日 21:00~『花咲舞は黙っていない』の主演の花咲舞の上司役の「芝崎(太一)次長」: 演じたのは、飯尾和樹氏でお笑いコンビ「ずん」の一人で、定年間際の銀行マンを演じて、彼はこの役としては2代目で1代目は塚地武雅氏(ドラクドラゴン)で共にコメディアンで、主役の引き立て役なのであろう。飯尾氏をこのドラマで知り、彼がBSで「ずん喫茶」とタイトルの放映あり、彼の温厚さから見始める。何か「不思議な縁」か。
- (4) 花咲と芝崎の苗字を比較すると、主役は花咲の方が: イメージ的に前に向かう感じがする。
次回シリーズでは「芝崎(太一)次長」がもっと活躍することを個人的には期待したい。
- (5) 彼らの仕事は社内監査でドラマでは勸善懲悪、複雑怪奇な構成する事によって面白さがUP、はらはらドキドキ感でずんずんとストーリーが進む感あり。監査は社内的にはきちんと運用されていれば、必要ない部門であり、あまり感謝されない🙄。
でも、この部門をなくせば、タガが外れ、悪用する連中が表れ、多くの問題が発生するであろう。

同: 同じ苗字の出演者が出てくると、つい応援したくなる。

姓: 姓の「シバサキ」はあまり採用されなく、たまに出演すると、活躍してほしいと期待。

苗(名): 苗(名)は体を表す名詮自性、主役にはなれずとも、しっかり主役をサポートしてほしい。

字: 字を見て、思わず感じる次第.....



実はサラリーマン時代に監査の仕事に携わった時期あり、ドラマ『花咲舞は黙っていない』に興味を持った: 「品質保証」及び「ISO(仕組み状況確認)」の仕事に就いた時、最初に言われたことはお客様の目線でチェックせよと。社員であるのに社員でないのが第一印象。複雑な気持ちになった事を今でも覚えている。

「花咲舞」役: 今田美桜🌸さん(今回)、杏さん(前回) 「芝崎(太一)次長」役: ずん飯尾氏



以上